



盛んな声援を受け ベストの滑りで健闘

暖冬で雪不足が心配されていましたが、第21回町民スキー大会は期日を延期して2月20日に町営薬師山スキー場で開催されました。当日は、朝から雪が時折り吹きつけ、必らずしも最良のコンディションとはいわれないが、小学校から一般まで350人の参加選手は、盛んな声援を受けベストの滑りをみせて健闘、大会を盛りあげていました。

(大会の結果は、次回広報でお知らせします)

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

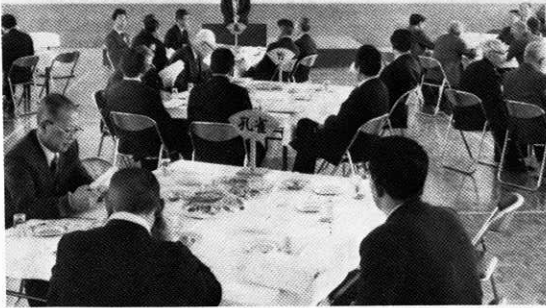
1月31日現在	(前月比)
総人口 25,387人	(2人増)
男 12,395人	(7人増)
女 12,992人	(5人減)
世帯数 7,247世帯	(2世帯減)

地区の公共事業に寄与して

沢口財産区管理会が廃止

沢口財産区
管理会解散式並びに祝賀会

財産区は町と分収契約で存続



昭和三十、三十一年の町村合併によって、四町村間の基本財産（山林や土地）に著しく均衡を欠いていたので、旧村の七座、坊沢、綴子、栄、沢口、七日市では財産区を設置。審議機関である財産区管理会では、地区住民の公共的事業の推進、福祉の向上に寄与するため、協議を重ねて運営してきました。しかし、沢口財産区では基本財産の減少により財源確保が困難なことから、この三月をもって管理会を廃止することになり、二月十八日に関係者七十人余りが出席して解散式を行いました。

鷹巣町は、三十年に合併促進法

にもとずいて鷹巣町、七座村（小繁、下田平、麻生がその後二ツ井町に分町）、坊沢村、栄村、沢口村が合併。三十一年に綴子村、七日市村の七カ町村が合併してできた町ですが、当時は各町村間で基本財等などの所有状況が著しく均衡を欠いていたので、鷹巣を除く六地区では法律にもとずいて、財産区の設置が認められたものでした。

沢口財産区でも、当時は二百六十畝（公簿面積）の財産を旧村から受けつぎ、財産区管理会を設置して運営にあたってきました。管理会は、区域の住民の意志を反映させる審議機関であることから、区有財産の効果的活用をはかるため、財産の収益性と維持管理に努力してきましたし、また学校建設や、沢口林業センター建設、集落集会所建設の助成など公共的事業を円滑に進め、区域住民の福祉の向上に、その役割りを果たしてきました。

そのほか、地元持売等で財産の大半を処分したので、現在は九五畝（面積は公簿によるもので実測面積は四十八・八七畝）となっていました。

これらの区営林は幼齢林であり、収入が当分見込まれそうもないことから、財産区本来の財産の管理運営が困難になってしまいました。このため、区域住民と協議のうえ、区営林を町との分収林（財産区七〇％、町三〇％）として、管理を町に移管することになったものです。

このため、沢口財産区管理会では

は委員会を開いて、財産区は存続するが管理会は三月をもって解散することに同意をしたので、三月定例議会で承認され次第廃止されることになりました。

町ではすでに七座財産区が、昭和五十五年三月に管理会を廃止しているため、これで二つ目となります。

今日から役場の

執務時間の変更

昨年の十一月一日から冬期間の時間短縮を実施していましたが三月一日から平常どおりになりますので、お知らせします。

〔役場〕

▽平日 午前八時三十分から午後五時十五分まで

▽土曜日 午前八時三十分から午後零時三十分まで

〔公民館〕

▽平日 午前八時三十分から午後十時まで

▽日曜・祝祭日 午前八時三十分から午後五時三十分まで

▽休館日 毎週火曜日

※公民館は休館でも職員は勤務しています。

〔図書館〕

▽平日 午前八時三十分から午後六時まで

▽日曜日 午前八時三十分から午後五時三十分まで

▽休館日 毎週火曜日

なお、鷹巣体育館は、三月三十日（火）まで、冬期時間ですのので午後九時で閉館します。

町長 日誌

2月1日～2月15日

1日	厄年祈願祭懇親会
2日	猟友会事故防止協議会
3日	鷹巣町協力委員全体会議
4日	鷹巣阿仁広域組合管理者・副管理者会議
7日	鷹巣職業訓練協会法人化設立に伴う会議
8日	消防関係連絡会議
9日	七日市地区道路竣工祝賀会
10日	むし菌のない子の表彰式
11日	栄地区町長と語る会
12日	鷹巣民号打合せ
13日	建国記念の日を祝う会
14日	綴子地区町長と語る会
15日	合川高校組合議定会定例会
	町民卓球大会
	鷹巣町長杯中中学選抜柔道大会
	鷹巣町内農協婦人部研修会
	坊沢地区町長と語る会
	鷹巣営林署協議会
	郵便局との協議会

日曜日に営業する

ガソリンスタンド

3月6日…成田石油
(田中)

3月13日…後藤石油

各地区で

町長と語る会を開催

例年冬季間は、人の集まりがよいことから「町長と語る会」が行われていますが、このほど栄、綴子、坊沢で開催されました。

出川町長は、各地区で行政全般にわたって報告をし「五十八年度予算の編成にあたっては、世界的な不況により国はもちろんのこと、県や町においても増収の見込は立っていない。むしろ地方交付税は減額の方角にあり、町としても予算の効率的執行が望まれている。また農業も転作が強いられ、過去の冷害を教訓に生かし、足強い強い農家育成が先決。町有林を中心として財産増成。教育環境の整備。道路網の整備。商工業の振興が急務である。また、老人保健法の改定により健康教育、検診などを充実して福祉の向上に努めたい」などとお話ししました。

そのあと、各地区では、それぞれ地区の実情をふまえた要望や意見が、次のように出されました。

栄地区

二月十日午後一時から摩当・栄生活改善センターで開かれ集落の代表や老人クラブ、婦人会、PTA役員など四十人余りが参加。主な内容は次のとおりです。

▽学校林が間伐の時期にきている
▽学校林の維持管理は本来PTA



が手入れすべきだが、学校の統廃合により地区で管理すべきだ。

▽部落移転に伴う財産区の権利関係
▽地区内に居住する区民に資格があるものであり、したがって移転先の財産区民となるのが原則。

▽交通量の増加に伴う太田・糠沢線の道路改良
▽将来は電柱の移転、側溝にフタをしたい。

綴子地区

二月十一日午後一時半から綴子基幹集落センターで行われ、各集

落自治会長が出席して話し合われました。

▽健康増進センターの建設について
▽財政が厳しいので建設年度は明言できない。

▽運動広場の造成
▽綴子沢、糠沢に一カ所が望ましい。いずれも地域から土地の協力を得れば補助したい。

▽基盤整備について
▽作業効率の面からも早急に実施すべきで、農地所有者の理解、協力が必要だ。

▽集落内の側溝整備
▽五九インターハイをめざして旧町の側溝を整備したい。などとなっています。

また、地域を住みよくするための協議もなされ、道路、河川には不法投棄しないようにしよう、インターハイに備え花いっぱい運動を実施しよう、冠婚葬祭は簡素化しよう、不用品は地区内でバザーをやつてはどうか、火災が多く発生しているので防火思想を高めよう、非行を防ぐため地域みんなで声をかけよう。など建設的な意見を出していました。



坊沢地区



十三日午後一時から坊沢公民館で開かれ、地区住民五十人が参加しました。意見、要望は次のとおり
▽坊沢農道道路の改良舗装について

て「国の予算がついて、五十八年度に幅員五、延長千四百四十メートルを坊沢側から改良舗装する。米代川橋までは町単で検討したい。緑ヶ丘側は橋のかけ替え、カサ上げが必要であり五十九年度以降になる。米代川の改修について「基盤整備、中併農道と同時に考えるべきで地権者の協力が必要だ。」

▽冷蔵庫、テレビなどの粗大ゴミが収集されない「テレビは有害のPCBが入っており業者に引き取ってもらふべき。また収集車が押込み式で粗大ゴミは現時点では無理だが検討する。」

▽道路に穴があいている「実態を調査して春には補修したい。」

▽地区の町道認定、改良舗装について「全町的な問題であるので調査をしたい。」

税金の申告相談日程表

日時	申告会場	申告相談時間	
		午前9時～正午	午後1時～午後4時
3. 1 火	田中総合センター	田中	新田中・南田中
2 水	沢口林業センター	小森	小摩当
3 木	役場大会議室	中屋敷・上野	堂ヶ岱
4 金	沢口林業センター	藤株	脳神
5 土	役場大会議室	与助岱・葛黒	
7 月 三ノ渡	渡会館	上舟木・明利又・黒森	松沢・三ノ渡
8 火	七日市基幹集落センター	中畑・大畑・品類	根木屋敷・妹尾館
9 水	七日市基幹集落センター	深沢・吉ヶ沢・下舟木・横瀬	岩脇・吉野
10 木	役場大会議室	七日市1組～3組	七日市4組～6組
11 金	役場大会議室	日程により申告できなかった人	
12 土	役場大会議室	葉たばこ耕作組合	
14 月	役場大会議室	日程により申告できなかった人	
15 火	役場大会議室		

20回町民卓球大会

団体で役場が男女制す

オープンには男・塚本(職女・日下部(秋銀)

第二十回町民卓球大会は、二月十三日午前八時三十分から鷹巣体育館で開催され、団体では男女とも役場チームが優勝を飾りました。大会は、十種目に約二百五十人が参加。日中の最低気温がマイナス四・五度と吹雪舞う真冬の荒天にもかかわらず、館内は熱気がたぐい、接戦の試合が展開され



ました。

成績は次のとおりです。

〔一般男子団体〕▽一位〓役場
A(花田広美、津谷和暁、福岡正治)▽二位〓沢口体協▽三位〓深関クラブ 鷹巣職業訓練校
〔一般女子団体〕▽一位〓役場
A(畠山洋子、佐藤栄子、寺田恵美子)▽二位〓秋田銀行▽三位〓鷹巣役場B

〔一般男子シングルス〕▽一位〓高橋仁(木村食品)▽二位〓田中実(全通)▽三位〓藤原和明(職訓校) 福岡正治(役場)
〔一般女子シングルス〕▽一位〓土佐恒治(職訓校)▽二位〓佐藤秀夫(中岱)▽三位〓佐藤博重(全通) 成田健三(役場)
〔ペアラン〕〓四十五歳以上)▽一位〓高橋四郎(職訓校)▽二位〓鈴木栄(綴子農協)▽三位〓佐藤元一(マルモト) 佐藤堅二(小田)

〔男子オープン〕▽一位〓塚本辰憲(県職)▽二位〓佐藤司(信組)▽三位〓高橋謙祐(綴子) 太田昭博(共済組合)
〔一般女子〕▽一位〓畠山洋子(役場)▽二位〓佐藤栄子(役場)▽三位〓寺田恵美子(役場) 小塚弘子(沢口)
〔女子オープン〕▽一位〓日下部まり子(秋銀)▽二位〓畠山洋子(役場)▽三位〓桜井光子(鷹巣阿仁集荷センター) 中島純子(小ケ田)

〔中高男子〕▽一位〓佐藤徹(大館商業)▽二位〓村上修(農林高)▽三位〓高橋昌人(農林高) 日下部公信(鷹巣中)
〔中高女子〕▽一位〓佐藤恵子(鷹巣高)▽二位〓奈良田明子(鷹巣高)▽三位〓藤島ルリ子(鷹巣中) 山田恵美子(鷹巣高)

たばこは

町内から

買いましょう

転出・転入届をお忘れなく

春の引っ越しシーズンを迎え、目の回るような忙しさに追われている方も多いことでしょう。

引っ越しで忘れてはならないのが転出・転入時の届け出です。うっかりして手続を忘れると、選挙に参加できなくなったり、国民年金の給付が受けられないなど、さまざまな不都合が生じる場合があります。適切な住民サービスを受けるためにも、届けは必ず出しましょう。

〔住民基本台帳への記載〕
住民基本台帳への記載や消除等は、転出、転入届を出すことによって行われます。

引越す日と転出先の住所が分かっていたら、役場で転出証明書をもらいます。転入届は、引っ越した日から十四日以内に転出先の役場に提出してください。

住民基本台帳は、住所、世帯等に関する住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録、住民税の賦課徴収、国民健康保険、国民年金その他、住民に関する事務処理の基礎となります。

ですから転入届を出さなければ、選挙権の行使や国民健康保険の給付などが受けられないばかりでなく義務教育就学のもことになる学齢簿作成もできないことになってしまいます。

なお町内で住所を変えたとき

は、転居届を出さなければなりません。例えばアパートに住んでいて、一階から三階に部屋を替えたときも転居届が必要になりますのでお忘れなく。

〔その他の届け出〕

そのほか、引っ越しの際には、次のような届け出が必要で、印鑑登録証の返却し、転出先で新たに申請します。

▽国民健康保険証の返却し、転出先で新たに申請します。
▽国民年金の転出先で住所変更手続をします。

▽在学証明書〓小中学生の場合は、学校で手続をし、転出先の教育委員会に提出します。町内の場合は教育委員会へ、

▽運転免許証〓十五日以内に、転出先の警察署、また警察の自動車試験場で住所変更手続をします。自動車のある場合は、所轄の陸運事務所登録変更手続をします。

このほか、郵便局に住所変更届を出しておくと、転出先に郵便物を転送してもらえるのでたいへん便利です。



65歳以上の方は必ず受診を

3 月 10 日から老人の健康診査

あなたの健康は自分自身で守ろう

このページはお年寄りが見やすいように大きめの活字を使っております。また、お年寄りのいる家庭では、みなさんが読んで教えてください。

老人健康診査日程表

診査医療機関	診 査 月 日	診 査 時 間
白 田 医 院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午前9時 ～ 12時
近 藤 医 院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午前8時30分～ 12時
佐藤外科医院	3月10. 11. 14. 15. 16日	//
佐々木産婦人科医院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午前9時 ～午後4時
鷹巣クリニック	3月10. 11. 14. 15. 16日	午後2時 ～ 5時
鷹 巣 病 院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午前9時30分～ 12時
津 谷 医 院	3月10. 14. 15. 16日	//
戸嶋産婦人科医院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午前9時 ～ 12時
としま内科医院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午前8時30分 ～ 12時
奈 良 医 院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午後2時30分～4時30分
藤 原 医 院	3月10. 11. 14. 15. 16日	午前8時30分～午後5時
北秋中央病院	3月10. 11. 14. 15日	午後1時 ～ 3時
盛岡外科医院	3月10. 11. 14. 15日	午前8時30分 ～ 12時

ことしの二月一日に施行された老人保健法にもとづいて、老人の健康管理を強化するために、健康診査や健康教育、健康相談、機能訓練などを実施しておりますが、町では、三月十日から町内の病院や医院の協力をえて、健康診査（一般診査、精密診査）を実施することになりましたので、該当者は必ず受診してください。

診査の対象となる方は、満六十五歳以上（大正七年二月二十

八日までに生まれた方）で、現在、定期的に通院していない方です。

通院している方は、お手数でも役場町民課福祉係 ☎②—11—11（内線一二四）へ連絡してください。

受診料は、一般診査（問診、理学的診察、血圧、検尿）は百円。精密診査（心電図、眼底、血球、血色素、GOT、GPT、糖負荷試験）は千円ですが、満七十歳以上、生活保護者は無料

です。

健康診査は、都合のよい日時に希望する病院、医院で受診してください。

その時、持参するものは保険証と健康手帳（医療受給者証を含む）ですが、満七十歳以上の方で、まだ健康手帳をお持ちでない方は、役場町民課福祉係で交付するほか病院、医院の窓口

に申し込めば健康診査期間中だけお渡しすることになっていま



飲酒運転・飲酒歩行をやめよう

秋田県内では、2月13日現在で、交通死亡事故が8件発生しております。そのうち4件が飲酒しての事故です。（飲酒運転1件、飲酒歩行・飲酒寝そべり3件）これから年度末をひかえ、飲酒の機会が多いので、運転者も歩行者も十分注意してください。

昭和57年度「三歳児むし歯のない子」表彰式



むし歯のない子が年々増加 よい子五十二人が表彰

五十七年度「三歳児むし歯のない子」の表彰式が、二月九日午後一時三十分から中央公民館で行われ、男二十七人、女二十五人、計五十二人が表彰され、出川町長から賞状と賞品のアルバムが贈られました。

今回の対象者は五十四年一月一日から十二月三十一日まで出生した二百八十九人ですが、該当者の一八・六％が表彰を受けました。表彰式では、審査にあたった佐藤正孝歯科医師が「虫歯のない子が年々増えている。これは母子衛生が行き届いている成果で、妊産婦の栄養がバランスとれているからだ。この経験を生かし子どもにも好き嫌いのない子に育ててほしい」とあいさつしました。

出川町長は「むし歯のない子は、九年前六％だったが、家庭全体の努力で年々成果をあげている。歯が丈夫であることは健康の源。今後も歯はもちろん体を丈夫に、そしてきまりあるしつけで立派な社会人に大成されることをお祈りします」と述べました。

最後に、受彰者の母親を代表して米沢恵子さんが「歯みがきを習慣づけ、おやつを与えすぎないよう、規則正しい生活を身につけさせます」と謝辞を述べ式を終わりました。

受彰者は次のとおりです。

工藤高志(英俊 長男)	大堤
相馬秀人(恭二 長男)	米代町
米山 允(栄八郎 二男)	花園町
千葉慶喜(正義 二男)	横 渚
九島晃子(友信 長女)	田 中
中島大樹(一夫 長男)	高村 信
米沢幸子(幸一 長女)	糠 沢
米沢純子(幸一 二女)	糠 沢
莊 将也(憲二 二男)	松葉町
飯塚 薫(憲喜 長女)	南鷹巣
熊谷明子(憲久 長女)	前 山
津谷英範(準悦 長男)	坊沢上町

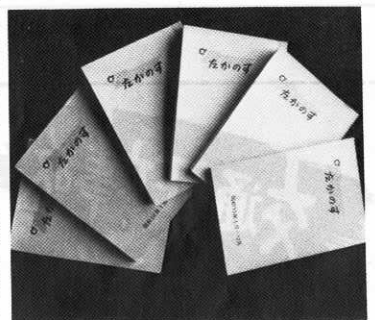
広報 たかのす

「広報たかのす」は、町とみなさんをつなぐパイプ役として、多くの町民のご支援を受けながら三月十五日付で五百号を発行するまでにいたり、心からお礼申し上げます。

ご承知のように、広報は月二回発行され、町勢の全容をみなさんに紹介しており、町の歴史資料として、各家庭で大事に保存されているようです。

町でも、資料保存のためいままで発行された広報を年ごとに製本して、図書館や学校に備え付けていますが、保存がよく見やすいことから、大変好評を得ています。

今回も、五十七年分を製本することにりましたが、この機会にみなさんが家庭で保存している「広報たかのす」についても、希望があれば実費(五百円)で



製本のお手伝いをしたいと思っています。発行年ごとに、一月一日号から十二月十五日号までおそろいで、製本を希望される方は一冊につき五百円を添えて、三月二十二日(火)まで、町総務課広報係(二階)へお届けください。

冬期電気事故災害防止運動

漏電、感電、電気災害から身を守りましょう。
 □タコ足配線はありませんか □ビニールコード配線はありませんか □コンセントは不足していませんか □洗濯機にアースを取り付けておられますか □スイッチに正しくヒューズが入っていますか □漏電ブレーカーが付いていますか

永沢信明(安光 三男)	東横町	戸嶋和歌子(完治郎 二女)	舟見町
長谷川政志(久一 二男)	元 町	窪内麻衣子(春光 長女)	前 野
奈良卓也(吉夫 長男)	新田中	藤田美樹子(貞章 長女)	住吉町
桜庭丈子(三千雄 長女)	蟹 沢	清水智子(隆志 長女)	前 野
石田奈穂美(孝雄 二女)	前 野	本城谷かおり(春雄 長女)	前 野
佐藤彰子(正孝 三女)	松葉町	三沢秀一(信男 長男)	宮前町
矢田部千夏(晃 長女)	伊勢町	土佐宏紀(恒治 三男)	掛 泥
畠山里美(富雄 二女)	前 野	三沢智昭(清三郎 長男)	大 堤
小笠原勝(昇 二男)	綴子大畑	佐藤礼子(忠雄 三女)	坊 山
成田幸司(優 二男)	四 渡	福岡公平(正志 長男)	南鷹巣
赤石圭裕(裕二 長男)	掛 泥	戸島晃子(厚志 長女)	坊沢大町
鈴木文子(充治 二女)	南鷹巣	内 山 恵(秋夫 長女)	南鷹巣
藤田由香里(清 長女)	相善町	丸世章貴(志保子 二男)	南鷹巣
村上 藍(国夫 二女)	前 野	藤嶋貴徳(吉美 二男)	太 田
大高孝子(村上清 園児)	吉 野	田村直樹(健悦 長男)	栄大沢
木村洋子(健治 長女)	舟 場	佐藤忠紀(博 長男)	脇 神
花田健作(勇作 長男)	脇 神	宮野拓人(明義 長男)	綴子町
花田俊将(久直 長男)	太 田	本城優香里(耕二 長女)	藤 株
本間次郎(孝徳 二男)	舟見町	伊藤裕美(正良 長女)	伊勢町
日景基喜(勝徳 二男)	根本屋敷	藤島朋英(喜美男 長男)	綴子町

消費生活講座が閉講

家庭の安全とかしい消費者に

家庭をあずかる主婦の方を対象に、くらしの安全を考え、正しい商品知識を身につけ、かしい消費者に



費者になるための消費生活講座を開設。昨年五月三十日から六回講座を開いて二月十七日に終了しました。

同講座には、全町から延人数三百四十八人が参加。四回以上参加した五十六人に終了証が授与されました。

最終日には、「これからのくらしのあり方を考える」と題して、くらしの中の資源、エネルギー問題について講演がありました。

講演の主な内容は、日本は資源のない国で、資源のほとんどは外国に依頼している。その中でも石油の占める割合は九・八%と高い。しかし石油の埋蔵量は三十五年よりもないので大量は三十五年よりもないので大

鼓膜が破れ、耳だれ(耳漏)が出ることもあります。

一方、慢性中耳炎の原因は、耳のどの奥を継ぐ耳管と呼ばれる管から、中耳に細菌が入り、慢性になったのではないかとされています。これも鼓膜に穴があいて難聴になったり、耳だれが出たりします。

耳なりも気になる症状ですが、神経質な人が心配するほど、危険な病気ではありません。しかし、高血圧などで起こることもあるので、耳なりのある場合は、一応、全身の検査を受け、心配のないこ

停電のお知らせ

十二月の作業停電は、次の地区です。

▽8日旭団地、下糠沢付近
▽17日東横町地区
※時間は、いずれも九時から正午まで。

とを確認しておくといでしょう。めまいも耳から起こることがあります。内耳炎やメニエール病の時、周りの物がぐるぐる回り立っていられず、吐き気をもよおすことがあります。

以上の他、まだまだ耳の病気はありますが、耳の病気を予防する方法の一つに、うがいがあります。のどの奥と耳は耳管で通じているため、のどの奥を清潔にすることは特に中耳炎の予防となります。なぜから耳の病気にかわることも多いので、なぜと耳の病気を予防に毎日うがいをしましょう。

固定資産税
台帳の縦らん

昭和57年度分の固定資産税の課税の基礎となる固定資産課税台帳を、次により縦らんいたします。

記

とき 3月2日～22日まで
平日は、午前8時30分から午後5時15分まで、土曜日は午後12時30分までとなっております。なお、日曜日、祭日は除きます。

ところ 鷹巣町役場税務課

きれいな選挙で
明るい町を

知事・県議会議員選挙日 4月10日

町長選挙日 4月24日

ルール守って三ない運動

◇おくらない

政治家や候補者が、お中元やお歳暮、結婚のお祝い金やお祝い品など金品を贈ることはルール違反です。

◇もらわぬ

政治家や候補者などから、祝儀やせん別など金品を受けとってはけません。

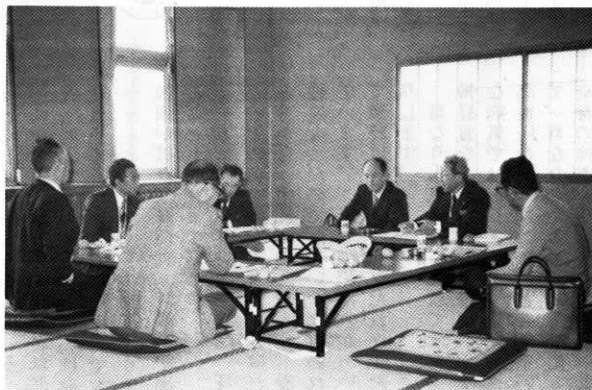
◇求めない

政治家や候補者などに、お祭りの寄附、お酒など金品を求めることは禁じられています。

鷹巣町明るい選挙推進協議会

健全育成めざして 連けい強化を

学校教育と社会教育



鷹巣町教育委員会で、青少年の健全育成のため、学校教育と社会教育の連けい強化をはかるべく関係者の懇談会を開き、推進要項を作成した。

メンバー、教育長・校長会生徒指導担当小中各一名・教委総務課長・社教課長・中央公民館長・同主査・社教指導員の九名。

推進要項は重要つぎのように述べている。

学社連けいの課題

本町で最初公民館ができた頃は各小学校に設置し、校長や教頭が主事を兼務し、成人学級を開き、地域の文化センターの役割を果していた。いわゆる学社末分化の時代であった。

その後、社会教育体制が整備さ

れ、その専門分野を担当してきた。そうした中で、全国的に青少年教育に対する世論が高まり、学社の連けいが強調されるようになった。しかし、それぞれの分野が専門化される現在「学校は学習指導が中心である」「社会教育は児童生徒を受け入れるだけの力がない」などの考え方が要因となって進展を見せていないのが実情である。

本町ではいろいろな阻害要因を分析研究し、相互補完の実をあげるようにしたい。

そして、その目標は「非行対策」よりも、生涯教育の考え方による「健全育成」を主にしたいと述べている。

生涯にわたる学習を

健全育成を目標とする学社連けい

いは、その視点として

- 1、変化の激しい時代に生きるためには生涯にわたる学習が必要で、その芽を学、社で育てる
 - 2、生活体験学習を尊重し、ものごとへの対応、処理能力を養う
 - 3、社会道徳を重んじ、人間関係のあり方、奉仕の心、思いやりの心を育てる
 - 4、豊かな社会をつくるための社会参加活動を奨励する
 - 5、家庭の教育機能を高めるためその学習の場をつくる
- の五項目を掲げ、学・社における指導者間の意思疎通を大事にしながらすすめることにしている。

全町統一テーマで

今後の方向としては、初年度は考え方を整理し、現在行なわれている青少年関係事業の点検を行うが、やがては、地域テーマ、全町統一テーマを設けて取り組む。

そのためには、専門的な研究委員会、校舎、校長会、教頭会、社会教育関係団体などをとおして研修、啓発につとめる。

なお、「鷹巣町学社連けいに関する資料」として、各学校で行っている、キャンプ大会、農業実習、収穫感謝祭、親子読書、親子座談会、移動文庫、その他など。

町や教委主催の文化祭・体育祭・読書感想文・少年団体モデルづくり協議会、発明工夫教室、その他など、更に自主団体の健全育成町民会議の諸事業などを掲げている。

ふるさと 人物伝

津谷 泰司

一八八三 — 一九七七



大正から昭和初期にかけての坊沢村は、争いごとがなく、平和な時代であった。それは医師であり、村会議長である津谷泰司氏からの影響力が大きいといわれている。

泰司は明治十五年四月、山本郡常盤村、与斎源蔵の次男として生まれ、後坊沢村の津谷喜三郎の養子となる。若い頃から大変な勉強家で、独学で入学資格をとり、東京慈恵院医学校に合格、明治三十六年卒業、同四十二年三月、坊沢村に開業する。近郷に医師の少ない時代なので人々にとって大きな光明であつた。

また健康保険制度がなく、医療費を払えない人も多い時代に「ある時払いの催促なし」の彼のやり方は、村人に尊敬の念をもつてむかえられた。まさに農民の心をわがかる慈善事業であった。更に独学でドイツ語を究め、医師の研さんを積んだので、坊沢の津谷医院はいつも患者があふれていた。

彼は、大正二年、村会議員に当選、昭和三十年の町村合併まで十一期、四十三年間つとめる。その間殆んど議長となり、佐藤音吉村長と共に、村有林の造成につとめ、その収入によって無税の村をつくるという百年の大計を立てる。温厚な人柄でスケールの大きいこの案に反対する人はなく植林とその管理は着実にすすめられた。

彼の家はまた、地主であり自作農であった。若勢（使用人）を督励して、計量器を使って肥料の配合の仕方や、温度計を使って苗代の水温を計りながらの水の調節など、科学的な稲作を実行にうつした。朝夕は必ず水田を見まわり、九十五歳の長寿をまっとうした。「くよくよしないこと」「必ず体をうごかさず」「腹八分にして食べすぎないこと」を信念をもって実行しつづけた人である。昭和五十二年没（資料、「北秋文化と人物」長男・津谷忠夫氏、二階堂善三氏談）

文責 中央公民館長 長崎 久



視聴覚教育に役立てよう

16ミリ映写機操作技術講習会は、1月16、17日の両日中央公民館で開催されました。講習会には、高校生や学校教育、社会教育関係者のほか主婦など、およそ50人が参加。理論やフィルムの接着方法、映写機の操作などを修得して、視聴覚教育に役立てようと熱心に受講していました。講習終了後には、全員検定試験を受け、合格者には認定書が交付されました。



第3回町長杯県北選抜中学校柔道大会は、2月13日午前10時から町立武道館で開催されました。大会には県北から13校14チームが出場。四ブロックで予選リーグのあと、上位8チームで決勝トーナメント戦が行われました。鷹巣中学校（成田広志、金沢守、木村英正、浜辺和憲、河田鋼衛）は順調に勝ち進み決勝で強豪・能代二中に内容勝ちし二度目の優勝を飾りました。

鷹中が二年ぶりに優勝



七日市地区の道路が改良

七日市自治会長連絡協議会では、2月8日午後から同地区内の道路（県道・揚ノ下～岩脇線、町道七日市～妹尾館間、葛黒～大畑、七日市本郷）が、改良舗装、拡幅、側溝の完成を祝って竣工祝賀会を開催したものです。道路は、自動車の普及により急速に整備されましたが、地域の産業の発展、教育、文化、保健医療に役立つ路線と関係者から喜ばれていました。

鷹巣小学校では、児童の創造性と自主性を高めようと、毎週土曜日に『鷹っ子タイム』で、子供の自主活動を行っています。2月4日には1年から3年生まで、自分たちが作成した絵を利用して、ジャンボカルタ大会が行なわれました。「あいさつは心をこめて、ていねいに」と読まれると、子供たちは画用紙大の絵札を目がけていちもくさん。

鷹小でジャンボカルタ大会



公民館のついで

公民館の定期講座を、若干スタイルを変えて開設した所、大変好評を得ております。
従前、定期講座は四月から十月までとし、それ以後は自主的な運営にまかせていました。

今回は、冬期間の活用方法、講座内容を変え、新しい学習者を开拓する意味で、次の要項で開設しています。

▽開設期間

五十八年二月から三月までとし集中的に開設する。(記載は三月以降の分のみ)

▽講座内容

- (1) 油絵講座
内容―デッサン、スケッチ
講話と実習
○期日―三月十二日(出)、二
○(出)午後一時三〇分
○講師―神成正雄(絵画クラブ会長)
- (2) 自由詩講座
内容―生活を見つめる自由詩
○期日―三月五日・十二日・十九
日・二十六日

学級紹介

東横町婦人学級

従来の東横町婦人学級のメンバーを一新して、一廻り若いお母さん達で学級を結成しました。名称は今迄通りですが、年齢構成の変化が、学習内容にもあらわれています。必然的に「子ども」の事が必要課題として計画されますが、結成されて、四年になります。

「若さ」が、「自己主張」につながり昨年は崩壊寸前までになりました。
思い思いの意見の中から「かつこうつけた学級でなく、普段着の学級」とか、「誰れかの為にやる学級でなく、自分のための学級」などの意見が出て、何んとなく気が楽になり、それなら、このまま続けられそうだ。やれる、という事で、現在に至っています。
集団学習の場合は、わがままにならない程度の、本音の出し合い

- 午後一時三〇分
○講師―亀谷健樹(密造者編集同人)
- (3) 社交ダンス講座
内容―初心者対象のブルース・タンゴ、ジルバなど
○期日―三月十二日、二十六日
午後七時から
- 講師―鷹巣社交ダンス会員
- (4) 音楽鑑賞講座
内容―バロック音楽から古典派音楽、ロマン派など
○期日―二月中に開設しています
が、希望により三月まで延長する予定です。
○講師―川口洋一郎(鷹巣高等学校)
- ▽場所
いづれの講座も、中央公民館で行っています。
- ▽受講料
無料ですが、講座によって材料費を徴収することがあります。
※受講希望者は、開設途中からでも受付(中央公民館)します。

が大切だと思います。右往左往しながらもがんばるつもりです。

会長 成田 テル子

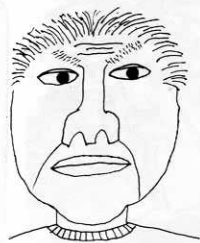


郷土史年表

(71)

西暦	年号	事項
一九四九	昭和二四	○五月十日 栄小学校PTA結成 ○五月十一日 米内沢町大火、焼失一九九戸、損害約一億三千七百万円 ○五月十七日 観音堂併分校、中学校併置のため体操場を改造して二教室とする ○六月二十四日、綴子村少年夜警団、県知事及び村長の表彰式挙行 ○六月二十八日 坊山分校増築落成式 ○七月五日 下山国鉄総裁変死事件 ○七月七日 連合軍進駐軍、軍政部員調査のため役場に来る(綴子) ○七月十五日 三鷹事件 ○八月十一日 松川事件 ○九月十三日 七座中学校職員室増築 ○十月一日 中華人民共和国成立 ○十月二十三日 秋教組関係者四十三名、退職強制される(レットバジ) ○十一月三日 七座小学校PTA結成 ○十一月 栄村役場庁舎新築落成 ○十二月十日 綴子村外二ヶ村、米代川用水工事竣工式 ○十二月二十六日 沢口中学校校舎新築移転記念学芸会 ○十二月二十八日 栄中学校校舎増築(二教室)落成式 ○鷹巣小学校、モーター式井戸設置 ○教育公務員特例法公布 ○教育職員免許法公布 ○一月十九日 綴子青年会で社会学級を開催す。講師は北秋田地方事務所長 ○三月 北秋信用組合創立
一九五〇	昭和二五	

(次号へつづく)



ばくのおばあちゃんのとくいなことは、はりしこととりようりです。みんなのきものを、ぬつてくれす。ばくもハッピーやわた入れをぬつてもいました。おばあちゃんのつくってくれるカレイリスとスパゲティは、とてもおいしいのですきです。

ばくのおばあちゃん



南小学校 2年

さとう せいちゃん

おばあちゃん、からだにきをつけて、ながいきしてください。

重い足をひきずり
 一步一步ふみしめて登る
 ふもとを見おろすと
 きよりの練習が小さく見える
 人目をぬすんで立ち止まる
 いつの間にかみんなが上の方へ
 遠ざかって行く
 ちよう上をめざし、また登りはじめる



横沢 山内みつ子 (25)

サークル活動と私

初めて鷹巣町で手話講習会なるものが開催された時、以前から興味を持っていた私は、やったぞ!という気持ちで、はりきって受講しました。

その時の仲間が、このまま終ってしまふのはもったいない、ぜひサークルを作ってもっと手話を学ぼう、と「手話サークルみずたまり」を結成してから早くも四年が経ってしまいました。

その間、地味な活動のため、あまり知られていないのではないかと、思うのですが、少しでも理解し、身近に感じてもらえればと思います。

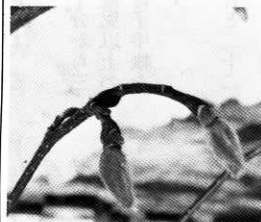
毎年夏に講習会を行っています。指文字や、一つ一つの単語は解りやすくおもしろいのですが、会話となると、なかなか難しく、覚えていたはずの単語まで忘れてしまったり、指の方向や動かし方を間違えて、まったく違う意味のことを言っていたり、四苦八苦といったところですよ。何年もやっていると、耳の自由な方と話す場合でも、

口話や筆談を交えなければ通じないし、少ししか読み取ることができませんが、自分の手話が通じた時のうれしさは格別です。

サークル活動を通して、いろいろな人と知り合うことができ、それによって、自分が影響され、少しは広い視野に立つて物事を見つめることができるようになるのではなないかと思っています。手話を学ぶ事がすぐに社会性につながると思いませんが、手話をやることで社会に目を開きつつ、かけがえなれればと思います。

誰でも気軽に手話を使えるようになったらと思ひながら、毎週木曜日には公民館に向っています。

みんなの広場

ハクモクレン
(モクレン科)

苞の毛で寒さを防ぎ、
 春を待つ花芽

(鷹巣南小学校 畠山益穂先生)



ひなまつり 三月三日は
 ひなまつり。

その昔中国から伝えられたものです。三月の第一巳の日に人の形に切り抜いた紙を陰陽師からもらい、それからだをなでつけると

身のけがれが人形に移る。その人形は再び陰陽師に戻し、おはらいをしてもらって川に流すという習慣がありました。したがって当時はこの日を「三月の上巳」と呼び、一月の小正月、五月の端午、七月の七夕、九月の重陽の五つの節句の一つとして、しかも身を清めるという宗教的に厳粛な意味をもつ

ていたということですが。人形はその後川には流さなくなり、さらに「変化」して自宅に飾って酒食などを供えるようになったと伝えられております。

室町時代になってからは夫婦の人形を飾って遊ぶ風習になり、つまり「ひなまつり」に変化したのだそうです。

たかのす文芸

スキー

電森小学校 五年 藤本 咲子

ゴールを見おろし
 深くしんこきゅうをした
 ゆるゆるとスタートする
 「パワー」と大きな風の音
 鳥になって飛んでいる気分だ
 ぐんぐんゴールが近づく
 まだまだすべっていたい
 いきおいよくゴールにとびこむ
 ほっとしていきをする
 また山へ登る

重い足をひきずり
 一步一步ふみしめて登る

ふもとを見おろすと

きよりの練習が小さく見える

人目をぬすんで立ち止まる

いつの間にかみんなが上の方へ

遠ざかって行く

ちよう上をめざし、また登りはじめる

おしらせ



一線美術会運営委員 九島繁一氏

三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、九日と二十三日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

フッ素イオンむし歯予防は、三日です。

時間は、午後一時三十分から三時まで。対象者は満三歳児以上の幼児で、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

妊婦健康相談は、七日と二十一日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。
また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。時間は、午前十時から十一時まで。
※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

乳児健康診査は、十七日と五十七年十一月生まれとなっています。受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

離乳食実習指導は、十七日と五十七年八月生まれとなっています。受付時間は、午前九時三十分から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

三歳児健康診査は、▽一日と五十五年一月、二月生まれ▽十日と未受診者となっています。受付時間は、午後一時から一時三十分まで、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。
※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

一歳六カ月児健康診査は、三日と五十六年二月から七月生まれの未受診者となっています。受付時間は、午後一時から一時三十分まで、中央公民館ホールです。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦（助産婦）による妊婦訪問を行います。

三月は、▽四日▽沢口、七日市地区▽十一日▽栄、坊沢地区▽二十五日▽綴子地区
時間は、午前九時から午後四時までとなっています。

印鑑登録の切替は

三月三十一日まで

昨年の五月一日から登録証（カード）に改められましたが、三月三十一日まで変更してください。四月以降は新規登録となります。切替、新規登録の手続は▽登録する印鑑▽本人であることを証明するもの（写真付きの身分証明書か運転免許証など）▽証明がないときは保証書（用紙は町民課窓口にあります）
代理人の場合（本人が病气などで）は、代理権授与通知書が必要です。この場合は、本人の意志によるものであることを確認するため、即日交付できません。
すでにカードに切替えている方は、カードを持ってこないと、証明書を発行できません。かならず持参してください。
※くわしくは役場戸籍係へ

農耕用軽油の

免税証を交付

五十八年の農耕用に使用する軽

油の免税証を、三月十八日午前九時三十分から午後三時三十分まで役場で交付いたします。
おいでの時には、次の関係書類をご持参ください。
◆新規申請者
▽農耕用機械の所有証明書
▽耕作面積の証明書
▽申請者の印鑑
◆継続申請者
▽免税軽油使用者証の有効期限が切れている場合や、農耕用機械に変更がある場合は新規扱い（この場合、旧使用者証は返納）
なお、前年に二百リットルを超える免税証の交付を受けている方は、その引き取りに係る納品書（写）が、または石油販売店からの証明書が必要です。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ご芳志に深く感謝いたします。
- ▽横瀬 千葉 一郎さんから亡父 恵吉さんの香典返し
- ▽黒沢 大川 康一さんから亡母キクさんの香典返し
- ▽前山 藤田 久幸さんから亡父由太郎さんの香典返し
- ▽脇神 花田 藤男さんから亡父吉之助さんの香典返し

誕生おめでとうございます

2月1日～2月15日



- 小林 里佳（昌光 長女）あけぼの
- 仲谷 奈央（茂好 長女）今泉
- 武内 麻衣子（常美 二女）綴子町
- 鈴木 由紀子（守 二女）伊勢町
- 近藤 佳奈子（良信 二女）小森
- 畠山 貴子（啓一 二女）藤株
- 岩本 尚美（幸夫 長女）岩脇
- 村上 麻里子（正 長女）掛泥

二人の前途を祝福いたします

おくやみ申しあげます

- 千葉 恵吉（74歳）横瀬
- 三沢 ツナ（53歳）田中
- 藤田 由太郎（80歳）前山
- 河田 茂太郎（79歳）元町
- 佐藤 ハノ（90歳）小森
- 五代 儀ハル（86歳）東横町
- 成田 浩蔵（57歳）東横町
- 堀内 フサ（59歳）下町
- 長岐 彦二（85歳）七日市
- 戸嶋 喜代松（75歳）今泉